

「電気磁気学 3 版改訂」(5, 6 刷) 正誤表

ページ	行数など	誤	正																						
25	11	位置エネルギーを得る	位置エネルギーを失う																						
28	下 6	これについては,	これについては $\text{rot}\mathbf{E}=0$ とも書けるが,																						
33	5	$\pm x/2$	$\pm \pi/2$																						
35	下 7	ガウスの法則とも呼ばれる。	ガウスの法則とも呼ばれる (3.12 参照)。																						
66	1	導体 2 が存在していると	導体 2 がないと																						
74	下 2	間隅	間隔																						
79	下 4	最も	もつとも																						
199	6	C_2	C																						
201	9	式 (8.63) および式 (8.64)	式 (8.64) および式 (8.66)																						
	13	式 (8.65)	式 (8.66)																						
206	図 8.30	(図 8.30 の補足説明)	注) 微小部分 $d\mathbf{s}$ によるベクトルポテンシャル $d\mathbf{A}$ を考えると, それは $d\mathbf{s}$ と平行になるが, 図の \mathbf{A} は式 (8.143) の \mathbf{A} の様子なので $d\mathbf{s}$ と平行になるとは限らない。																						
210	8	最も,	ただし,																						
	12	両者全く同一の	両者は同一の																						
222	表 8.1	(表の差し替え)	<p>表 8.1 ホール定数 R [単位: $\text{m}^3\text{C}^{-1} \times 10^{-10}$]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金 属</th> <th>R</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビスマス</td> <td>-6 300</td> </tr> <tr> <td>ナトリウム</td> <td>-2.5</td> </tr> <tr> <td>リチウム</td> <td>-1.7</td> </tr> <tr> <td>銀</td> <td>-0.9</td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>-0.72</td> </tr> <tr> <td>銅</td> <td>-0.55</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>-0.35</td> </tr> <tr> <td>ベリリウム</td> <td>+2.4</td> </tr> <tr> <td>砒素</td> <td>+45</td> </tr> <tr> <td>テルル</td> <td>+620 000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 20°C (室温) での値。他の材料につ</p>	金 属	R	ビスマス	-6 300	ナトリウム	-2.5	リチウム	-1.7	銀	-0.9	金	-0.72	銅	-0.55	アルミニウム	-0.35	ベリリウム	+2.4	砒素	+45	テルル	+620 000
金 属	R																								
ビスマス	-6 300																								
ナトリウム	-2.5																								
リチウム	-1.7																								
銀	-0.9																								
金	-0.72																								
銅	-0.55																								
アルミニウム	-0.35																								
ベリリウム	+2.4																								
砒素	+45																								
テルル	+620 000																								

			<p>いては、次の文献を参照のこと。Rの値は測定法、測定条件、試料の質などによって異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C.Kittel(宇野, 他訳):「キッテル固体物理学入門」上, 表 4, p.166, 丸善 ・青木昌治:「電子物性工学」表 10.5, p.212, コロナ社
222	式 (8.190)	$\mathbf{E}_e = \frac{R}{\mu_0} (\mathbf{J} \times \mathbf{B})$	$\mathbf{E}_e = R(\mathbf{J} \times \mathbf{B})$
337	4	$K_1 e^{\sqrt{\frac{\omega\mu}{2}}x + j\sqrt{\frac{\omega\sigma\mu}{2}}x}$	$K_1 e^{\sqrt{\frac{\omega\sigma\mu}{2}}x + j\sqrt{\frac{\omega\sigma\mu}{2}}x}$
351	1	マウスウェル	マクスウェル
352	3	マクスウェル	
360	式 (12.38) 右辺第 2 項	$+ K_2 e^{+(\alpha+j\beta)x}$	$+ K_2 e^{+(\alpha+j\beta)z}$
	式 (12.39) 第 2 式	$\frac{\varepsilon\mu^2}{2}$	$\frac{\varepsilon\mu}{2}$
378	A4 表内左 列 5 段目	[V/m ²]	[V/m]

(2007.4)